

専門学校春季トーナメント大会 兼 全国専門学校選手権予選大会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第25回春季トーナメント大会 兼 第24回全国選手権大会予選		
●日程	令和1年6月16日 (日) ~ 令和1年6月16日 (日)		
●会場	履正社医療スポーツ専門学 十三校体育館		
●講師	村田 尚美 様 宮城 由紀 様 太田 令菜 様 清瀬 未喜 様 (大阪府女性上級審判)		
●スケジュール	令和1年6月16日 (日)		
	10:00 集合 10:15 開講式(開講の挨拶・講師紹介・諸連絡) 10:30 講義 11:30 講義終了 <昼食> 12:30 実技開始 17:30 実技終了 予定 17:40 閉講式		
●担当試合	令和1年6月16日 (日) ~		
	対戦カード	大原京都	VS 日産京都
	主審	主審 中尾 美佳	副審 重松 志保・入口 桃
	講師/主任	村田 尚美 さん	
	講評	チーム:プレゼンテーションが小さく、選手及び会場を納得させるようなレポート及びプレゼンテーションができずジェスチャーが細かく短時間で実施していた。 プレカンファレンスでダブルコールなどの際に、違う判断をした場合の互いの審判の修正方法を話し合っている方が良い。 個人:プレゼンテーションやレポーティングがコンパクトだったので大きく体を使い、会場全体に納得感を与えるジェスチャーを行う。 リードポジションでのローテーションがまだまだ消極的でノックをよく起こしていた。今後はもっとチャレンジするべき。	
	自己の感想	個人の課題であるプレゼンテーションを意識し臨んだのですが、動画を見ると動きながらコールしていたりジェスチャーなどが小さくなっていたので止まって大きくプレゼンテーションをするよう、より意識していきたいと思います。 自分のプライマリーエリアを意識しなければならないが、ボールを追ってしまいクロスコールになる場面が多く見られたのでよりプライマリーエリアを意識していこうと思います。	

専 門 学 校 春 季 ト ー ナ メ ン ト 大 会 兼 全 国 専 門 学 校 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 選 手 権 予 選 大 会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	専門学校春季トーナメント大会兼全国専門学校バスケットボール選手権予選大会							
●日程	令和元年6月16日 (日)							
●会場	履正社体育館							
●講師	村田氏 清瀬氏 宮城氏 田中氏 花谷氏 太田氏							
●スケジュール	令和元年6月16日 (日)							
	9:55 開講式 10:30 講義 11:30 講義終了 12:30 実技開始							
●担当試合	令和元年6月16日 (日) ~							
	対戦カード	京都大原			VS	日産京都		
	主審	CC	中尾 美佳 氏	U1	重松志保	U2	入口 桃 氏	
	講師/主任	村田 尚美 氏						
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・意識しているが、まだ T が高い位置になっていることがある。そのため最後のところで判定がふれてしまっていることがある。 ・状況によるけれどC to Cをもう少し早く入るなどしたほうがいい。走るべき所での走りをもっと意識すること。 ・走り方、立ち方がカッコ良くgood call もあったけれどプレゼンテーションのところをダイナミックにして大きく見せるとよりよくなる。 ・EOQ、EOGの確認が必要。鳴らないより鳴ったほうがいいが最後の終わり方が大事。 ・プロテクトシューターや3or2の判定を正しい場所で正しい判断ができるように動くことが大事。FUL(F:foot U:up L:land)の確認を最後の着地まで。 						
	自己の感想	<p>メカに関してベーシックにすることをわかっていながらも、確認不足や準備不足もありメカが崩れてしまいEOQ、EOGのプライマリが吹けず重なってしまう時があった。良かったところとしては、ローテーションを積極的に行えた。</p> <p>今回挑む前に自己の課題を掲げ達成できるように取り組まないといけなかったところ、課題克服とはいかず、もっと自然に格好良くできるようなプレゼンテーションが必要だと思った。プレゼンテーションの小ささや「T」のポジションが高くて良いポジションでプレーを見ることができていなかった。自分自身の強みと弱みを理解し、今後の活動で克服できるように日頃から意識していく必要があると思った。</p>						

第 2 回 女 性 審 判 講 習 会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	専門学校春季トーナメント兼全国専門学校バスケットボール選手権予選大会		
●日程	令和元年6月16日 (日)		
●会場	履正社医療スポーツ専門学校 十三体育館		
●講師	村田 尚美 様 宮城 由紀 様 田中 真規 様 花谷 槇子 様 清瀬 未喜 様 太田 令菜 様		
●スケジュール	令和元年6月16日 (日) 10:00 集合 10:15 開校式 10:30 講義 ① 太田氏 情報収集とツール ~他府県審判講習に参加して~ ② 清瀬氏 審判活動 ③ 村田氏 EOQ,EQGとクロック管理の重要性 12:30 実技開始 17:40 実技終了 17:50 閉校式 18:30 懇親会		
●担当試合	令和元年6月16日 (日) ~		
	対戦カード	社体専門学校	VS 大原難波
	主審	主審 花谷氏	副審 渡部氏 田所
	講師/主任	清瀬氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーでコミュニケーション、アイコンタクトを取りながら審判ができていた ・AOSはプッシングで判定する ・Lの時にスイッチサイドをする際、スキャンザペイントを意識する→移動中にボールを見ている。どこを見ないといけないのかを考える ・UFが起こりうる可能性のあるケース→どのクライテリアに当てはまるかどうかをしっかりと自分の中で確認・整理すること ・走り方→腕を大きく振る。膝をあげて走る ・吹いた後、表情に出さないようにする。毅然とした態度を意識する 	

	自己の感想	<p>講義では、太田氏、清瀬氏の話聞いて、どこから最先端の情報を得るか、自ら探しに行くことの大切さ、審判を続けていく中で仕事との両立、優先順位とはなど考えさせられました。村田氏の講義は3POでのEOQ,EOGの重要性、細かなバスケットボール用語を教えてくださいました。実技では花谷氏と一緒に吹くことができました。カンファレンスでは花谷氏が試合に入る前に気を付けていること、周りから教えてもらったこと伝えて頂きました。ゲームを運営する中でとても大切な事を教えて頂き大変勉強になりました。前半大きな現象(シュートチェック等)については判定はできたが、ちょっとした手の引っ掛かりや、ドライブに対しての体のあたりについて前半から切ることができず選手のフラストレーションを溜める原因となったと思います。またベンチ管理も2人立っていることに気付いたがしっかりと注意することができなかったことが反省です。一試合を通してコミュニケーションの取り方の重要性を改めて感じることができました。</p> <p>今回女性審判講習会に参加するにあたって、村田氏をはじめ準備、協力して下さった皆様に感謝申し上げます。この経験を次に活かせるように日々頑張っていきたいと思います。</p>
--	-------	---

女 性 審 判 講 習 会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	専門学校春季トーナメント大会 兼 全国専門学校バスケットボール選手権予選大会		
●日程	令和元年6月16日 (日)		
●会場	履正社医療スポーツ専門学校 十三体育館		
●講師	大阪府女性上級審判 ＜講演＞村田 尚美 様 清瀬 未喜 様 太田 令菜 様		
●スケジュール	令和元年6月16日 (日)		
	9:55 集合完了	12:30 実技開始	
	10:00 開講式(開講の挨拶・講師紹介・諸連絡)	17:45 実技終了	
	10:30 講義	18:00 閉講式	
	11:40 講義終了		
	＜昼食＞		
●担当試合	令和元年6月16日 (日)		
	対戦カード	履正社医療スポーツ専門学校 VS 大原スポーツ&メディカルヘルス専門学校 難波校	
	主審	主審 山本 順代 副審	田中 眞理子
	講師/主任	宮城 由紀 様 田中 真規様	
	講評	<p>1Q 出だしよし。バックパス、8秒やバックコートからのフラッシュに対するプッシングのファウルを事前に予測して判定することができた。</p> <p>2Q以降 突然、慌ただしくステイできない状態になっていった。以降バタバタした様子が見受けられた。</p> <p>＜2人のコミュニケーション＞ アイコンタクトが十分に取れていない。 ドライブに対して、リードとトレイルのどちらが判定するのか、等、カンファレンス不足。</p> <p>＜個別＞ 表情含め、考えが行動・態度に出ている。バイオレーションやファウルで悩んで反応していた手は、だいたい間違いではなかったが、予測と位置取りが悪くコールまでできなかったと思われる。</p> <p>ファウルのコールの際、現代は走らないようになっている。→適応できていない。 服が大きいため、もう少しフィットするものを着るとよい。 全体的にコミカルであった。</p>	
	自己の感想	<p>講評にあるように、自分の笛にしては良いスタートを切れている。相手審判がミニ連の方であり、審判から遠ざかっていた時期があるとお伺いしたので、まずはセンターライン付近を注意して見ようと考えた。また、TOとのコミュニケーションの際、少し軽い空気を感じたので、クロックの管理を丁寧にしようと考えた。以上2点の想定が、良いスタートの原動力となったと考えられる。</p> <p>しかし、走る時の腕の振り方がおかしい。全体的に動きがカクカクしている。やはりそわそわした雰囲気醸している。等、途中からいつも通りの自分が出してしまったゲームであった。違和感のある脚のことが頭をよぎった時から、ゲームの最後まで「いつも通りの速さでないから、動くことでよい角度を取ろう」という間違った考え方を無意識にしていたと思われる。加えて、トレイルの位置の高さもその考えに起因したものであろう。</p> <p>課題シートに記入した課題は、15%程度しかクリアできていない。 次回審判に向けての課題は、同じままが良いと考える。まずは体の調整や衣服の新調、ポーカークフェイスの練習等、家庭でもできることを練習して臨もうと思う。</p>	

第25回春季トーナメント大会兼第24回全国選手権大会予選 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第25回 春季トーナメント大会兼全国選手権大会予選		
●日程	令和元年6月16日(日)		
●会場	履正社体育館		
●講師	村田尚美様 太田令菜様 清瀬未喜様		
●スケジュール	令和元年6月16日 (日)		
	10:00 集合 10:15 開講式(開講の挨拶・講師紹介・諸連絡) 10:30 講義 11:30 講義終了 12:30 実技開始 17:30 実技終了 17:40 閉講式		
●担当試合	令和元年6月16日 (日) ~		
	対戦カード	大原京都	VS 日産京都
	主審	主審 中尾美佳	副審 重松志保氏・入口桃氏
	講師/主任	村田 尚美氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・声を意識している ・ショットクロックの秒数をスローインの前に伝えていることはよかった。 ・トスアップからの後の見方に気を付けること。 ・メカの崩れが起こったときの修正方法を考えなければならない。(なぜ起こったのか。) ・トレールの位置をもっと低くすること。(フリースローのときも含めて) ・ファウルコールの後のプレゼンテーションはその場でよい。もっと落ち着いてコールすること。 ・ダブルの笛 プライマリーの意識を持つ 	
	自己の感想	<p>せっかくいただいたチャンスに感謝してまずコートに立ちました。前年度に引き続き女性審判講習会の講習生として参加できることがとてもラッキーなので、今までの研鑽したことをすべてオンザコートで表現したいと思いました。クルー同士、プレカンファレンスもしっかり確認し、とても信頼できる二人のクルーと共にコートに臨むことができました。自分の課題は山積みにはありますが、試合中はターンオーバーがたくさんあり、ゲームテンポには遅れないように必死でした。最近では上級審判員の方や指導員の方に「判定がよくできるようになってきた。」とほめていただける場面も増えてきてはいるのですが、自分自身はまだまだ力不足を感じ、とにかく審判の機会をいただいて挑戦するしかないと思っています。課題のプレゼンテーションはどうしてもあせっているのが悔しいです。バスケットボール感をもっと感じてスムーズなスイッチ、落ち着いた判定、コートでの振る舞い、信頼のもてる審判員を目指し今後も頑張りたいと思います。</p>	

令和元年女性審判講習会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第25回 関西専門学校バスケットボール選手権大会		
●日程	令和元年6月16日 (日)		
●会場	履正社医療スポーツ専門学校 十三体育館		
●講師	村田 尚美 様 太田 令菜 様 清瀬 未喜 様		
●スケジュール	令和元年6月16日 (日)		
	10:15 開講式 10:30 講義 12:30 実技開始 17:40 閉講式		
●担当試合	令和元年6月16日 (日)		
	対戦カード	履正社	VS 大原難波
	主審	主審 山本	副審 田中 眞理子 氏
	講師／主任	宮城 由紀 氏 ・ 田中 眞規 氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・ CCとしてゲームコントロールしようとしているのがよかったが、アイコンタクトをもっと取る必要があった。GOQ、GOG、2or3など、確認が必要。 ・ プレゼンテーションに課題 スナップをきかせたジェスチャーやフリースローのシューターが何番が声を出すこと ・ クロック管理が不十分 ・ 自身の課題としていた「リードでのエンドライン側ヘドライブするケースの判定」については、見方の工夫が必要。キープレイヤーのプレーに対しては、ミッドラインを越えて右側に積極的に移動してもよかったのではないか。 	
	自己の感想	<p>今回の講習会でお話いただいた「EOQ、EOGの重要性」に対して、プレカンで共通理解をしていたにもかかわらず、確認が甘く不十分だった。どの時でも、クロックの管理をすることを体にしみ込ませることが必要だと改めて思いました。</p> <p>また、自身の課題に対して重点的にお話をいただくことができたので、修正点を学ぶことができました。位置取りの工夫をして良い判定につなげたいと思います。マニュアルの理解、クロック管理など、不十分なところを確認し次に臨みたいです。プレゼンテーションに関しても、弱々しくなるところがあるので、トップレフリーの方のプレゼンを研究していきたいです。</p> <p>ご指導いただきましたインストラクターの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>	

大阪府女性審判講習会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第25回 関西専門学校バスケットボール選手権大会		
●日程	令和元年6月16日		
●会場	履正社体育館		
●講師	村田 尚美 様 宮城 由紀 様 田中 真規 様 清瀬 未喜 様 花谷 槇子 様 太田 令菜 様		
●スケジュール	令和元年6月16日 (日)		
	10:00 集合 10:15 開講式 (開講挨拶・講師紹介・諸連絡) 10:30 講義 1:30 講義終了 【昼食】 12:30 実技開始 17:30 実技終了 17:40 閉講式		
●担当試合	令和元年6月16日 (日) ~		
	対戦カード	社体	VS 大阪大原
	主審	CC: 花谷 槇子氏 U1: 渡部 未夏 U2: 田所 未果氏	
	講師/主任	清瀬 未喜氏	
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・ピックインパクトのケースで、笛を入れる。 ・ボールを追いかけてしまってるのでしっかりステイシヤングルを捉える。 ・クレーでのアイコンタクトが取れていた。 ・クローズダウン 躊躇しないで行く。 ・プライマリアリア・プライマリアングルは誰なのか、確認する。 ・プロテクトシュートの場合プッシング ・プレゼンテーション 堂々と出来ている ・センターでの立ち位置 安心感がある 	
	自己の感想	<p>クレーで映像を見ながらプレカンを行い、クレー内で共有しゲームに臨むことができた。積極的にローテーションをすることを意識し、実践することができた。プレゼンテーションでは自身の課題であった強さを1ゲーム通してきた点良かった。今後も良いプレゼンができるように勉強していきたい。相手のプライマリで起きたピックインパクトをノーコールにしてしまったので クレーとして課題が残った。今回女性審判講習会に参加させて頂くにあたり、講師の皆様へ感謝申し上げます。また、この講習会で学んだ事を今後につなげていきたいと思っております。有難うございました。</p>	